

社会文教常任委員会とはこんなところ

社会文教常任委員会は、住民福祉課、子ども課、生涯学習課、建設課の生活環境係、消防課を所管としています。議案審議、補正予算の審議では主に、教育・福祉行政と、生活環境、消防行政を担当します。

一部事務組合のうち、諏訪・茅野・原を含む4市町村で構成する諏訪南行政事務組合には委員3人を、富士見町・原村で構成する南諏衛生施設組合議会には5人の委員全員を派遣します。委員長は南諏組合議会の議長を務めます。また、諏訪広域連合議会と、諏訪広域公立大学事務組合議会にはそれぞれ委員1人を派遣。広域的な活動も社会文教常任委員会の特徴です。

委員会活動での抱負

委員長 川合 弘人



住民の教育・福祉、生活環境に関わる重要な委員会です。議案審議、補正予算の審議を通じて、それが住民生活の向上にどう関与するかを考え、活動をしていきたい。前期は、中学校のトイレ洋式化など所管の施設を視察しました。実際に見て話を聞くことで、得られる知識は大きいと考えます。現場を大切に、柔軟な姿勢で対応したい。

副委員長 五味 仙一



「どんな時代になっても強く生き抜ける人を創る」を公約の一番に掲げ、この委員会への所属を強く希望し、実現いたしました。

「8050問題」の50歳世代の当事者として、この問題を抑制する方法と公約実現の手掛りが、幼少年期、青壮年期の人間形成の場に共生する事と考え、強い人材を育成する為、日々研鑽します。

委員 五味 平一



町の極めて重要な課題は、少子高齢化による人口の減少問題である。

委員会ではまず、関係所管の人口減少問題に対応する対策を再評価しなければなりません。

そしてさらには、全ての町民が繋がりました、支え合う「地域共生社会」の実現が急務であります。実現に向けて取り組みを強化します。

委員 名取 武一



今「アベノミクス」のもと、格差と貧困が広がっています。このような中で、私たちの暮らしに最も身近な町政は町民に温かく寄り添わなくてはなりません。

町議会議員となり12年間、私は常に生活弱者支援と平和を目指して活動してきました。これからも「町民が主人公」の立場で、皆さんの声を町政に届けたいと思います。

委員 織田 昭雄



私が所属する社会文教常任委員会は住民福祉課、子ども課、生涯学習課、消防課、建設課の生活環境係が所管となり、町民の皆さんの生活に一番密着した部門と考えております。住民目線で物事の判断を下すこと、町民の幸せを第一に考えて何をすべきか？私は信条にしております「転ばぬ先の杖」を念頭に判断をしてみたいです。

オフィス交流棟改修工事請負契約の締結について、
「一般競争入札・契約金額6千7百50万円について、入札の予定価格は」の質疑があり、現在予定価格は制度上公表していないのと。
監査委員は、現職の岩間光泰委員（諏訪市）を再任し、町議会選出委員に織田昭雄議員を新任しました。
◎採決結果は、次ページの通りです。